



SCOUTは2010年4月に「学生がサイエンスコミュニケーションを実践する場をつくる」「科学に対する関心を高める」「科学に興味をもつきっかけをつくる」ということを目指して設立されました。2012年6月現在、メンバー数は約25名。様々な分野の学類生、大学院生、留学生および教職員が参加しています。
<http://tsukubascience.com>

2011 年度活動報告

SCOUT Science Communication of the University of Tsukuba



Tsukuba Science

Tsukuba Scienceは筑波大学で行われている研究や話題になっている科学情報を日本語と英語で掲載するウェブサイトです。昨年度は、震災後問題となった、放射線をテーマとした記事を中心に掲載しました。放射線の基礎知識についての英語版の記事は海外からのアクセスも多かったです。

また日本語版には「勉強会で使ってもいいか？」という問い合わせがありました。研究者インタビューでは石油生成藻類について書かれた渡邊信先生の記事に昨年度だけで4万を超えるアクセスがありました。



サイエンスアゴラ

「SC」が主催する日本最大のサイエンスコミュニケーションイベント「サイエンスアゴラ2011」では、「震災後、学生サイエンスコミュニケーショングループができること」として、宮城県女川町で、私たちが感じたこと、考えたこと、学んだことをポスター発表しました。

アゴラ会場では様々な年齢層の方々がブースに来られ、いろいろなアドバイスをいただきました。また多くの学生サイエンスコミュニケーション団体ともつながりができました。この経験は、改めて私たち学生サイエンスコミュニケーショングループに何ができるのか、を考えさせてくれました。



被災者支援

震災から半年たった9月には、津波の被害が特に大きかった宮城県女川町を訪れ、科学遊びラボを行いました。中学生を対象にした「電気を学ぼう！」では手回し発電機を使って実際に電気を起こしてもらいました。親子対象の「タネであそぼう！」では、飛ぶタネの模型を作って一緒に遊びました。年齢が近いということもあり、参加した子どもたちは、楽しい時間を共有できたと思います。

また、私たちは筑波大学「こころの復興支援プロジェクト」が行っている北茨城市でのイベントにも継続的に参加しています。



科学遊びラボ

「科学遊びラボ」は学生と子どもたちの触れ合いを重視した科学実験教室です。平成23年度はつくば市の児童館、保育園などへ行き、延べ120名以上の児童・生徒に対し実験教室を行いました。

つくば科学フェスティバルにも「微生物をまなぼう！」と題して出展し、さまざまな微生物の紹介や微生物の好きな食べ物を探る実験などを行いました。多くの子どもたちがブースを訪れ、初めて見るミクロの世界に目を輝かせていました。子どもたちに新しい世界を伝えたいということで、「つくば3Eフォーラム賞」を受賞しました。